

Srush

データを誰にとっても身近なものにする
データコラボレーションツール

The screenshot shows the Srush interface with a table titled 'FY22-2Q振り返り[マーケティング(GA4)×セールス(Salesforce)]'. The table has columns for '作成日', '流入経路', '# リード数', and '# 商談数'. A context menu is open over the '流入経路' column, showing options like '名前の変更', '列を削除', '絞り込み', '型の変更', and '集計'. The '絞り込み' option is highlighted. The table contains 16 rows of data.

	作成日	流入経路	# リード数	# 商談数
1	2022-01	Google広告	2	1
2	2022-01	Facebook広告	3	2
3	2022-01	Google検索	10	3
4	2022-02	Google検索	3	1
5	2022-02	Google検索	4	2
6	2022-02	Google検索	15	3
5	2022-03	Google広告	5	1
5	2022-03	Facebook広告	6	2
5	2022-03	Google検索	20	3
5	2022-04	Google広告	6	1
5	2022-04	Facebook広告	7	2
5	2022-04	Google検索	8	3
5	2022-05	Google広告	25	1

だれでも・すぐに、
横断的な販売戦略
データ分析が始められる

株式会社Srush

設立 2019.11.21

所在地 東京都中央区日本橋一丁目4番1号日本橋一丁目三井ビル

代表取締役 樋口 海

事業内容 データコラボレーションツール「Srush」の提供/運営

資本金 1.5億円（資本準備金含む）

投資会社



NISSAY

日本生命



Money Forward

外部評価



Microsoft

Microsoft
for Startups



Google for Startups

Purpose Vision

Purpose

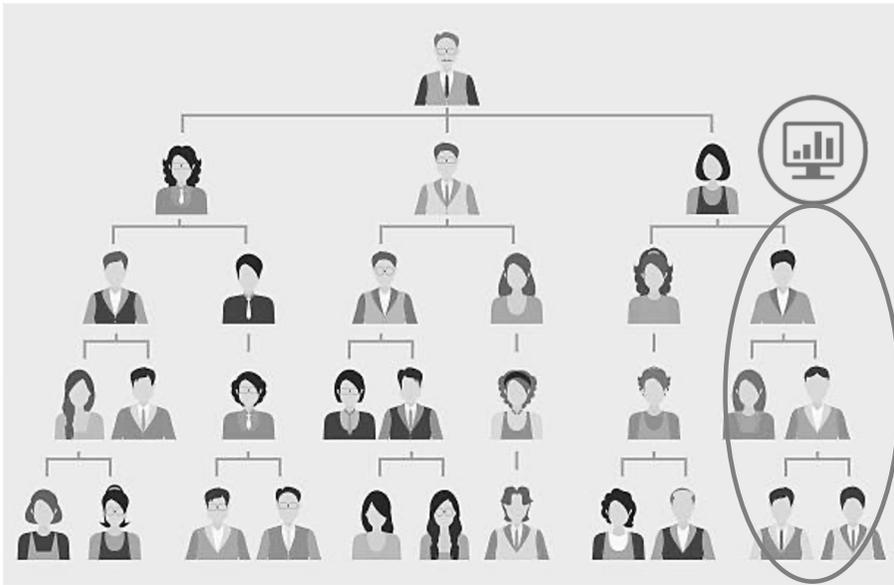
顧客を飛躍的な成長へと導く

Vision

データを誰にとっても身近なものにする

飛躍的な成長に繋がる、データ分析の理想

データを誰にとっても身近なものにすることで、組織と人とデータをコラボした最強のデータドリブンな組織が生まれ、飛躍的な成長が実現する



一部の組織や人が属人的に分析を行う

限定的な影響範囲に留まるため、
飛躍的な成長には繋がりにくい



組織を跨ぎ、担当者単位で再現性の高い分析を行う

あらゆる階層で自発的に成長に向けた縦横無尽な分析が
行われることで飛躍的な成長に繋がる

お客様の成長をデータからサポート

複数部門・複数ツールに散在しているデータを統合・集計し、だれでもすぐにデータ分析が始められます

組織を
コラボする

クラウドサービス
ID単位で利用可能
全社状況が見える化

人を
コラボする

エンジニア不要
ノーコード
SQLいらす

データを
コラボする

豊富なデータ連携先
ビッグデータ対応
いつでも新鮮データ

データ分析の課題

エクセル/スプレッドシートでのデータ統合や集計作業に限界があり、要因分析を始められない

データを統合できない

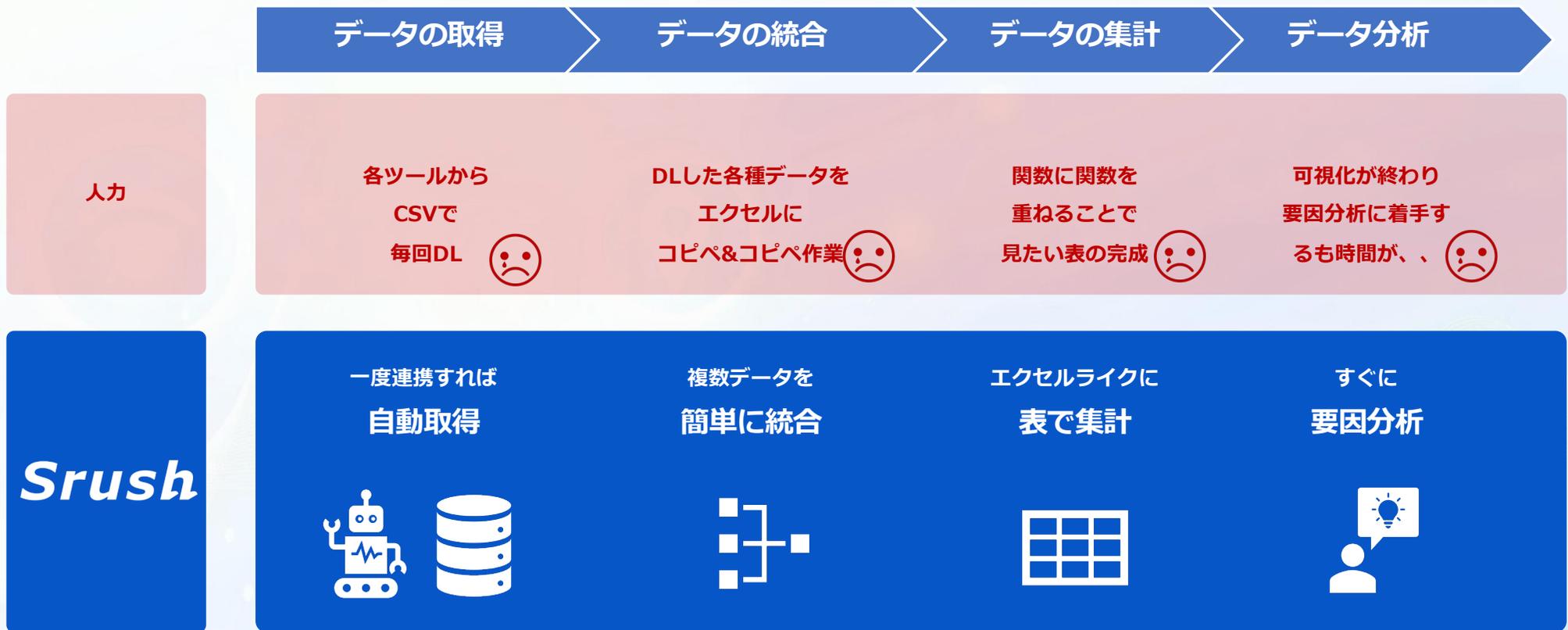
- 複数ツールにアクセスし、手動でエクスポートのうえ加工する
必要があり、大変
- エクセル/スプレッドシートの処理能力に限界があり、大量データの統合が実質不可能
- データ加工、DWHの構築にエンジニアスキルが必須だが、自組織にできる人間がいない

エクセル/スプレッドシートの限界

- エクスポート&集計をする工程で余計な工数がかかってしまう
- エクセル/スプレッドシートでは動作が重く、集計作業に耐えられない
- 関数が複雑化し、担当者にしか理解できない
- 変更の影響が大きく一度壊れてしまうと分析困難かつ、修正が困難

Srush導入後の仕組み

複数データの取得から統合・集計・分析までをノーコードでだれでもすぐに始められます



Srushのベース機能

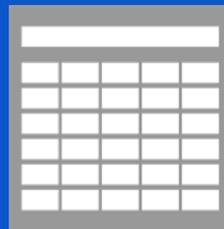
「だれでも・すぐに」データの取得→データの統合→データの集計→データのグラフ化までを実現することで、要因分析に集中できるようになります

Srush

ノーコード
データ連携機能



エクセルライクな
データ加工機能



データ
ビジュアル化機能

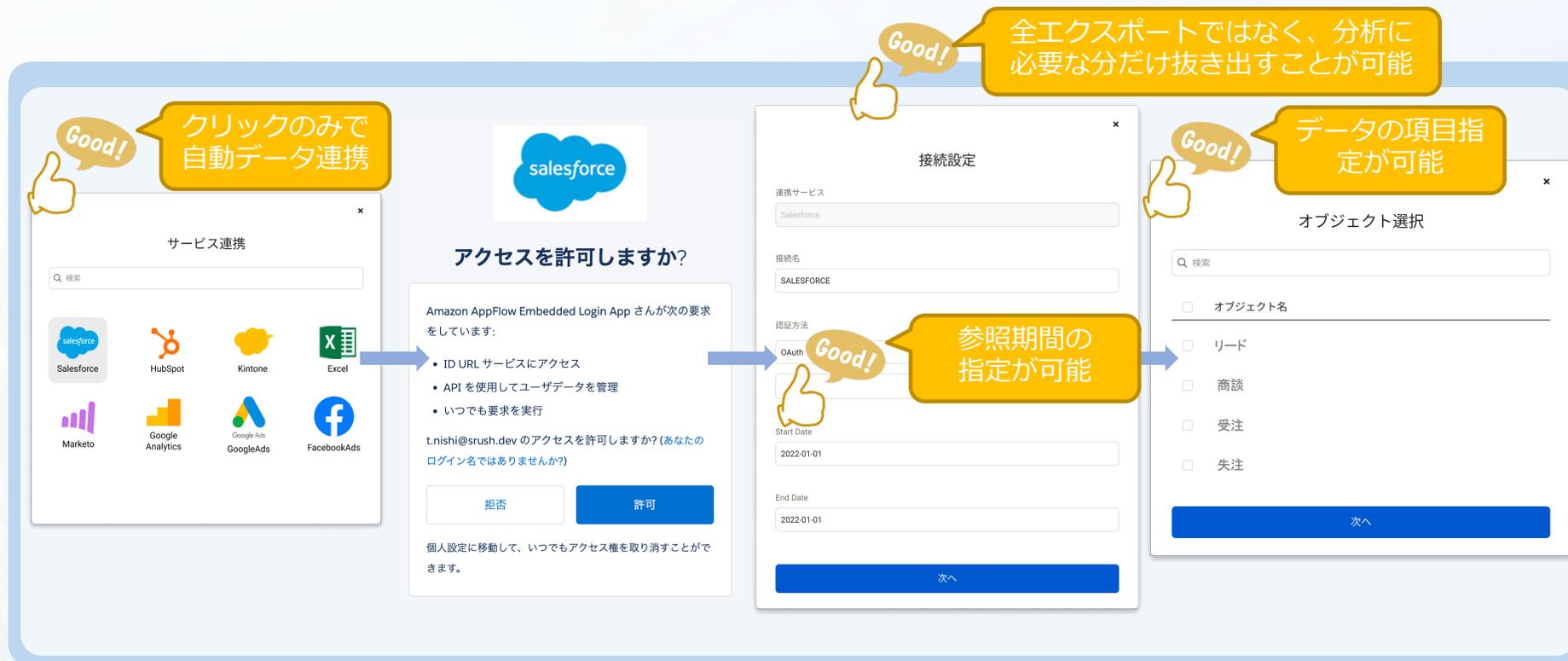


ビッグデータ対応基盤 (クラウドデータウェアハウス)



ノーコードデータ連携機能

100種類以上のサービスと、クリックだけで接続が可能（設定後は自動で最新化）



エクセルライクなデータ加工機能

エクセルに似た画面上で、クリックだけで各種DBのデータを複合的に統合・加工できる

クリックのみで
自動データ連携

データの追加が
3クリック！

Srush

+ 追加

FY22-2Q振り返り[マーケティング(GA4)×セールス(Salesforce)]

可視化

検索

- SALESFORCE
- ACCOUNT
- CONTACT
- LEAD
- OPPORTUNITY
- _ACCOUNT_BILLINGADDRESS
- FACEBOOK_ADS
- GOOGLE_ANALYTICS

	作成日	流入経路	# リード数	# 商談数
1	2022-01	Google広告	2	1
2	2022-01	Facebook広告	3	2
3	2022-01	検索	10	3
4	2022-02	2022-01	3	1
5	2022-02	2022-02	4	2
6	2022-02	2022-03	15	3
5	2022-03	Google広告	5	1
5	2022-03	Facebook広告	6	2
5	2022-03	Google検索	20	3
5	2022-04	Google広告	6	1
5	2022-04	Facebook広告	7	2
5	2022-04	Google検索	8	3
5	2022-05	Google広告	25	1

既に見えるデータ
をクリックで出力
可能

エクセルライクに
データの確認が可
能

データビジュアライゼーション機能(オプション)

データ加工機能で作成したデータテーブルを、グラフ形式でのビジュアライゼーションも可能

データセットを選ぶだけ! Good!

30種類のビジュアルタイプ! Good!

グラフ上で詳細の確認が可能 Good!

The screenshot shows a software interface with a sidebar on the left containing a 'データセット' (Data Set) list and a 'ビジュアルタイプ' (Visual Type) menu. The main area displays several charts: 'MS2-1=業種によるリード数時系列' (Lead count time series by industry), 'MS2-2=社員数によるリード数時系列' (Lead count time series by employee count), and two heatmaps ('M3-1' and 'M3-2') showing lead sources and employee counts. A 'フィールドウェル' (Field Well) at the top allows for chart customization, such as selecting '業種大' (Industry) for the legend and '折れ線グラフの値' (Line graph value) for the chart type. A 'Good!' callout points to a specific data point in the MS2-1 chart, indicating that detailed analysis is possible on the graph.

株式会社オンリーストーリー様



決裁者マッチングプラットフォーム～ONLY STORY～の運営
#SaaS #データ量多い #Spreadsheet限界

導入前

- ⊖ 人によるデータ収集など非効率な作業が負担になっていた
- ⊖ 各種データの統合、加工作業の負担が大きかった
- ⊖ 営業担当者とのデータ共有が不完全

導入後

- ⊕ 自動最新化、自動データ取得により作業工数が減った
- ⊕ データ加工の工数が圧倒的に減った
- ⊕ 担当者の得意領域など今までできなかったデータが見えるようになった

主なデータソース



facebook

salesforce



株式会社TRICERA様



現代アートのグローバルマーケットプレイス開発・運営
#マーケットプレイス #データ幅広い #SFALレポート限界

導入前

- ⊙ 経営管理上必要な数字を整備し、管理するのに時間がかかっていた
- ⊙ ボトルネックや異常値、特異点を見いだすのに時間がかかっていた
- ⊙ 他ツールも含めて検討していたが、データの統合・加工で苦戦していた

導入後

- ☺ セクションごとにダッシュボードを簡単に構築できる
- ☺ 様々な軸で可視化し、新たな発見につながる分析が可能になった
- ☺ データ取得→統合→加工までSrushでスムーズに実現できた

主なデータソース



facebook



Money Forward クラウド



オンボーディングプログラム

ドキュメントによる案内だけではなく、Chat+MTGで導入初期は毎週フォロー

キックオフ

使い方講座

初期分析

振り返り

継続ご利用



1ヶ月

2ヶ月

3ヶ月

各種ドキュメント



Chatによる非同期コミュニケーション



MTGによる同期コミュニケーション

